

アイヌタイムズ

第25号

アイヌタイムズ第25号(2003年4月7日発行)からアイヌ語抜粋
著者: 横山裕之

スルク

(アイヌ イタク [アイヌ語])

トリカブト

(日本語)



トリカブト 写真提供: 楠正樹氏

トリカブト アナク アイヌ イタク アニ スルク
セコロ ア・イエ プ ネルウエ ネ。

スルク アニ カムイ ネヤ ユク ネヤ アロン
ヌ。

スルク ウシ アイ アニ ア・チョツチャ コロ、
カムイ ホシキノ ライホチカチカ、コロカ ウウ
エパクタ キロロサク ワ ヤイヌトウンヌ ワ、コ
イスマ タク エクパ カネ、アイネ ライルウ
エ ネ。

チコイキプ スルクカムイ オロワ ア・イホシキ
レ クニ ア・ラム。

ポンノ ポンノ フツタツ スルク ア・ウシ ワ、
ア・パルンペ カ タ ネワアンペ ア・アヌ。

トリカブトをアイヌ語でスルクと言います。

トリカブトの毒で熊や鹿などを獲りました。

トリカブトの毒を付けた矢に当たった熊は、最
初は暴れるが、徐々に静かになり、気力を失っ
て、口から泡を吹いて死にます。

スルクカムイ(毒の神)が獲物を酔わせるからだ
と考えられていました。

微量を笹の葉に塗り、舌にのせました。

ネ スルク ユブケ ヤ カ、 アニ ア・エラマン
ルウエ ネ。
ネワアンペ 「スルク サブケ」 セコロ アイエ。

ネンカネ アウタリ スルクカラ・アン コロ、 ナ
ニ ライ・アン ペ ネ。

砂沢クラ カツケマツ ヌイエ ヒ エネ オカ ヒ：
「ペッツ ヅラシ バエアシアワ、 ウンエカリ
ボン ウナラベ ホユブ ワ サン。ボン アザボ
クーカン セコロ イタツクテック ホユブ オマ
ン。

ハンペ トット シケ バセ ワ イオ ラウキ シ
レバ アッス アワ イシリ クランデ ボン アザ
ボ エネワ ボカ ヤイカリカ コエ ラン ペテッ
ク イバ コロ アン。

オロワ ケシトケシト アイ ビリヒ ムン シンリ
ツツ アニ カシ アン オイキ ヤッカ ナニ エ
コタ エン カスイ。

ボンノ ピリカ イケカ カンナ スイ エン。シネ
アンタ ヅマン カシ フツバ オケレ。ネ ト タ
マウヅイ。」

中本ムツ子 カツケマツ エネ ハウエアン ヒ：
「キナ ナア ポン ヒ タ スルク カ オハウキ
ナ カ ウネノ アン コロカ キナ ポロ ヒ タ
カトウフ ウシンナノ アン。」

パイカラ アン コロ オハウキナ ノンノ ヘチラ
サ。ネ ノンノ レタラ。チュク アン コロ スル
ク ノンノ ヘチサラ。ネ ノンノ シウニン。

その毒が強いかどうかを、それによって知りま
した。

これは、「スルク サブケ(毒の塩梅を見る)」と言
われます。

私たちが間違っ毒にかかると、すぐ死にま
す。

砂沢クラさんは、以下のように書きました：

「若いおばさん、走ってきて、若いおじさん熊取り
しかけにかかったと言って走った。

父母は荷物が重くて遅く着きましたから、かわ
いそうに若いおじさん苦しんで身のやり場がな
いようにころがっていました。

それから、毎日毎日、矢の傷、草の根で直した
が、だんだん悪くなって、

少し良くなっても、また悪くなり、ある日からだ
全体が腫れて、その日に亡くなりました。」

(『私の 10 代の思い出』砂沢クラ著 昭和 58 年
みやま書房 p.33-34)

中本ムツ子さんは以下のように言いました：
「トリカブトとニリンソウは、まだ小さいうちは似
てます。しかし、大きくなれば違いがはっきりし
ます。(『ウパシクマ 1』・中本ムツ子編・解説・片
山龍峯 1999 年片山言語文化研究所 p.59)

春になると、ニリンソウの花が咲きます。花は
白です。秋になると、トリカブトの花が咲きま
す。花は紫です。



エゾトリカブト 写真提供：神野正樹氏

オハウキナ クツタラ ネ コロカ、スルク アナ
ク ソモ ネ。スルク キナ ア・ヤク コロ フラ
ウエン ルイ コロカ、オハウキナ ソモ フラ
ウエン。

ニリンソウの茎は中空ですが、トリカブトの茎
は違います (註：中が随で塞がっています)。
トリカブトの茎は潰すと、ピリッと苦臭いがしま
すが、ニリンソウは刺激臭はありません。

スルク モトホ 「アコニチン型アルカロイド」ネ
ワ、アニ 神経細胞 スルクカラ ペ ネ。スルク
ア・エ ヤクン、トゥクンネ・アン ワ レワレ
ワク・アン アイネ、ライ・アン ルウエ ネ。
漢方 オッタ スルク 附子(ぶし) セコロ ア・イ
エクスリ ネ ア・カラ。コロカ、スルク アン
クス イサ パテク ア・エイワンケ ソモ キ ヤ
ク ウエン ルウエ ネ。

トリカブトの毒成分である「アコニチン型アルカロイド」は、神経細胞に作用します(註:「神経毒」)。トリカブトを食べると、体じゅうがしびれ、体が弱くなり、死にます。

漢方では、トリカブトから附子(ぶし)という薬が作られます。しかし、毒があるので、医者しか使ってはいけません。



附子(ぶし) 写真提供: 神保正善氏

アイヌタイムズをご購入していただける方がお知り合いでいらっしゃいましたら、お声をかけていただくと大変うれしく思います。

購読連絡先: 〒055-0101 北海道平取町二風谷 80-25 萱野志朗(宛)
購読料: 1500 円 (4 号ごと/アイヌ語版のみ)
2300 円(4 号ごと/アイヌ語版と日本語版)

読者からの投稿募集:

(連絡先): 〒047-0033

浜田隆史(宛)

北海道小樽市富岡 1-32-136

電子メール: otarunay@yahoo.co.jp

ウェブページ: <https://otarunay.at-ninja.jp/taimuzu.html>

注)アイヌタイムズの著作権は、アイヌ語ペンクラブにあります。

注)1. 赤字は、アイヌ語です。

2. 赤字のイタリック文字は、主に日本語由来のアイヌ語外来語です。